

特集 当初予算が決まりました

令和3年度当初予算は 86億8,500万円（一般会計）

一般会計当初予算は、86億8,500万円の前年度に比べて3.0%（2億5,300万円）の増加となっています。予算規模としては、社会保障関係経費や投資的経費の増加などにより過去最大を更新し、会計全体6会計の予算規模は154億5,034万5千円で、前年度に比べて8,538万円、0.6%の増加となっています。

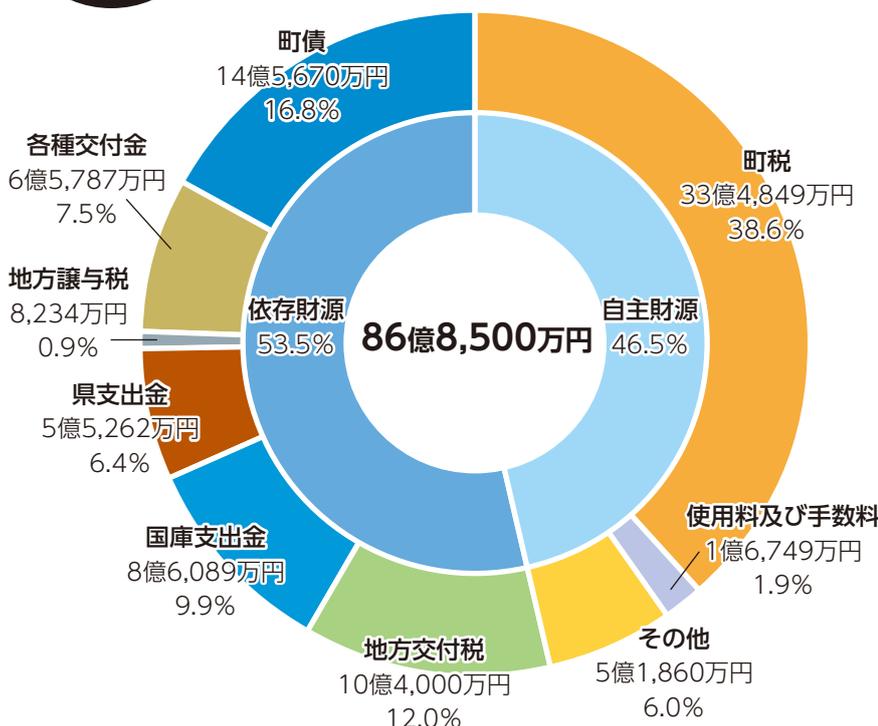
◆ 会計別予算

会計区分	令和3年度	令和2年度	増減額	増減率	
一般会計	86億8,500万円	84億3,200万円	2億5,300万円	3.0%	
特別会計	国民健康保険	29億8,820万円	28億6,280万円	1億2,540万円	4.4%
	後期高齢者医療	3億8,790万円	3億7,240万円	1,550万円	4.2%
	介護保険	17億6,750万円	21億4,790万円	△3億8,040万円	△17.7%
	下水道事業	9億1,940万円	9億4,430万円	△2,490万円	△2.6%
	小計	60億6,300万円	63億2,740万円	△2億6,440万円	△4.2%
水道事業会計	7億235万円	6億557万円	9,678万円	16.0%	
合計	154億5,035万円	153億6,497万円	8,538万円	0.6%	

※水道事業会計は、収益的支出と資本的支出の合計を記載しています。

歳入

町の収入には大きく分けて、国・県からの助成などに頼らない町税などの「自主財源」と、さまざまな形で助成、交付される補助金や交付金などの「依存財源」に分かれます。自主財源が多いほど財政が安定し、自主的な事業を行うことができます。



自主財源では、前年度より町税が大きく減少しています。その要因は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による経済的な影響によるもので、町税全体で前年度に比べて3億1,167万円の減収を見込んでいます。この大幅な減収を補うため、財政調整基金（貯金）1億2,000万円を取り崩します。

依存財源では、地方公共団体の財政状況に応じて交付される地方交付税が、前年度より増加し10億4,000万円となっています。また、国や金融機関からお金を借りる町債は、14億5,670万円と、前年度比36.1%も増加しています。

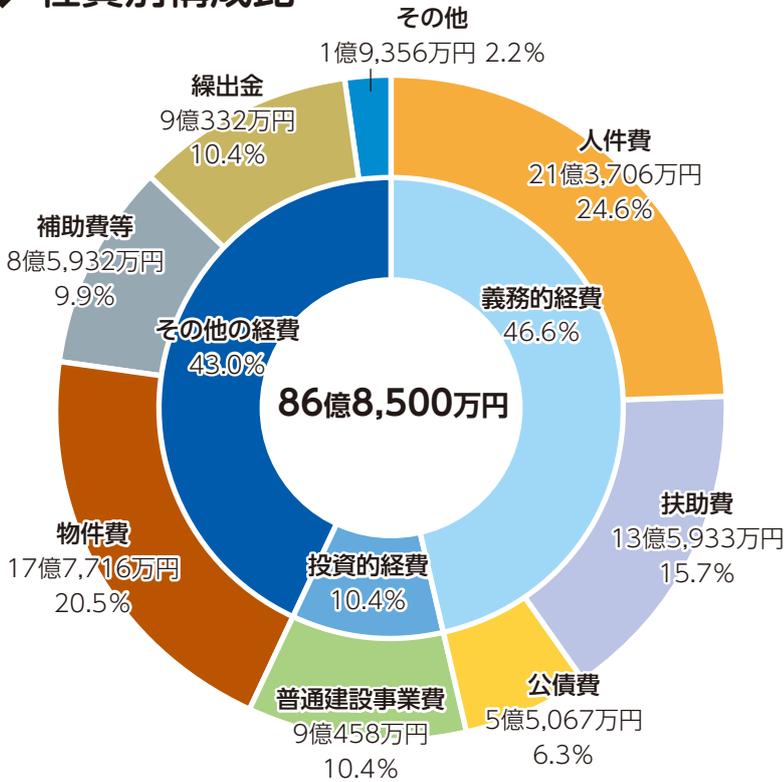
歳出

町の支出は、性質別に見ると必ず必要となる「義務的経費」、道路や建物の建設・改修などに使われる「投資的経費」、「その他の経費」に区分されます。

義務的経費となる扶助費は、社会保障関係経費が引き続き増加することから、前年度と比べて5.5%増加しています。人件費についても、会計年度任用職員制度の平年度化により、期末手当が増加するなど前年度に比べて3.2%増加しています。

また、投資的経費では斎苑改修事業、町民プール除却事業などにより、前年度と比べて14.1%増加しています。

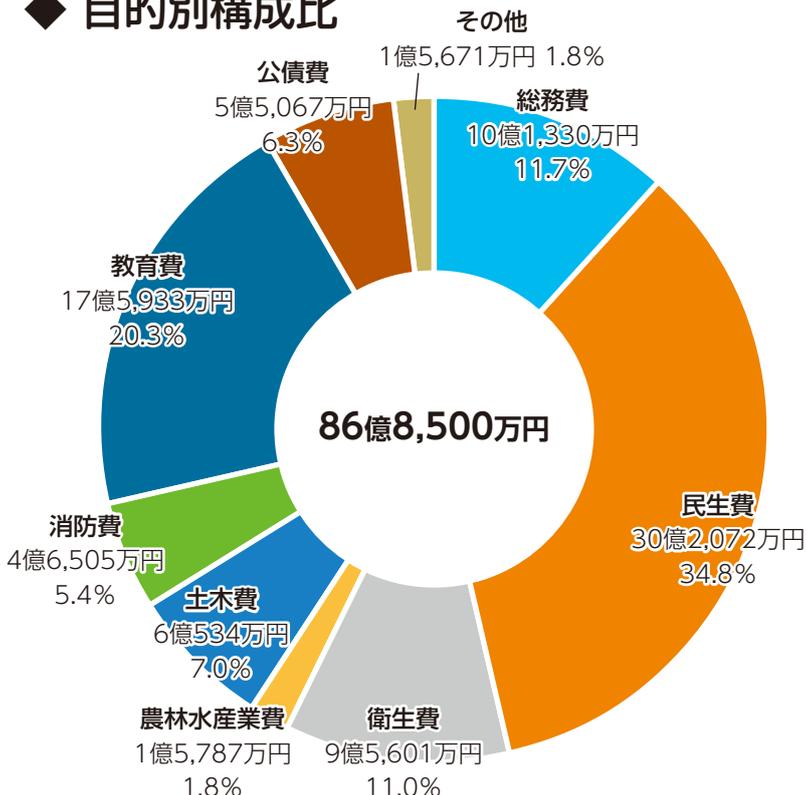
◆ 性質別構成比



◆ 性質別歳出の種類

義務的経費		
人件費	扶助費	公債費
職員の給料や手当など	児童や高齢者を援助する経費など	借入金の返済に要する費用
投資的経費		その他の経費
普通建設事業費	物件費	補助費等
道路や施設の建設経費や災害復旧費など	備品などの購入経費や委託料、光熱水費など	公益的な事業に対しての補助金や負担金など
その他の経費		
繰出金	その他	
一般会計から特別会計に支出する費用	貸付金や出資金など	

◆ 目的別構成比



◆ 目的別歳出の種類

総務費	民生費	衛生費
全般的な管理事務や徴税、選挙などの経費	高齢者・障がい者の福祉や子育て支援などの経費	保健衛生やごみ処理などの経費
農林水産費	土木費	消防費
農業振興や土地改良事業などの経費	道路・公園などの整備や都市計画などの経費	消防団の運営や消防施設の整備などの経費
教育費	公債費	その他
学校教育や文化・スポーツ振興などの経費	借入金の返済に要する費用	議会費や商工費など

令和3年度の主な事業を紹介します

令和3年度予算は、新型コロナウイルス感染症対策を最優先事項に据えるとともに「まちの形を変える、人に優しい地域をつくる、未来へ投資する」の3つの基本方針を柱に編成し、第6次総合計画に掲げる本町の将来像「おみごと！があふれる町へ」の実現を目指します。



財政課 村田 晃 さん

01 新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業

4月19日（月）から高齢者を対象に開始している新型コロナウイルスワクチン接種について、いなべ医師会と連携し住民の皆さんが安心して接種できる町内での接種体制を確保します。

■予算額 4,540万円



02 保育園衛生確保事業



新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策として、保育園などでの日常的な消毒や、水道蛇口ハンドルをレバー式のものに交換します。

■予算額 872万円

03 中学生胃がん予防事業

親族間での食事時の経口感染も確認されているピロリ菌について、中学3年生を対象としてピロリ菌検査を実施します。ピロリ菌を早期に発見することにより、胃がんなどの発症予防につながります。

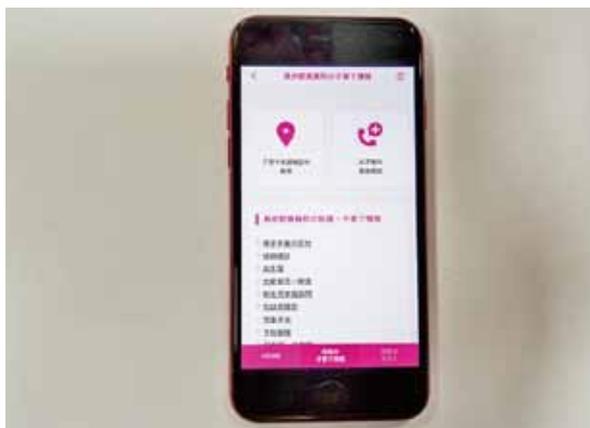
■予算額 54万円



04 母子手帳アプリ導入事業

母子保健をはじめ、子育てに関する行政情報などを集約し発信するためのアプリを導入し、オンライン相談などを実施します。

■予算額 86万円



05 斎苑改修事業



昭和61年3月に完成した東員町斎苑の長寿命化を図るため、火葬炉の更新を行います。

この更新は、令和4年度までの2年間をかけて行うもので、総事業費は2億8,130万円を見込んでいます。

■予算額 1億1,283万円

06 校務支援システム等更新事業

小中学校において、先生が使用する校務支援システム・パソコンなどの更新を行います。

■予算額 2,712万円



07 GIGAスクール推進事業



GIGAスクール構想の実現に向けて、小中学校に電子教材・プロジェクターなどの教育ICT機器を整備するとともに、授業支援としてICT支援員を配置します。

■予算額 5,267万円